

令和4年度認知症疾患医療センター研修会第2回 『BPSDについて』の開催報告

【開催概要】

- (1)日 時 令和4年11月11日(金) 18:30~20:00
(2)開催方法 オンラインにて開催(コロナ感染拡大防止のために、ハイブリッド同時並行で開催予定であった会場研修は中止)
(3)講 師 兵庫県立はりま姫路総合医療センター

精神科長 榎林 哲雄 先生

- (4)参加者数 50 関係機関 103 名

(関係機関の内訳)

開業医	4 関係機関	6 名
居宅介護支援事業所	8 関係機関	11 名
地域包括支援センター	11 関係機関	14 名
認知症疾患医療センター	1 関係機関	2 名
病院	21 関係機関	64 名
薬局	1 関係機関	1 名
訪問看護ステーション	2 関係機関	3 名
行政機関・その他	1 関係機関	2 名

(職種の内訳)

医師	13 名	看護師	33 名
保健師	2 名	薬剤師	1 名
認知症認定看護師	1 名	作業療法士	4 名
公認心理師	2 名	主任ケアマネジャー	2 名
臨床心理士	2 名	ケアマネジャー	12 名
社会福祉士	13 名	精神保健福祉士	8 名
介護福祉士	1 名	認知症担当	4 名
ケアスタッフ	1 名	事務職員	4 名

- (5)本日の講演会についてのご意見、ご感想。

- ・ BPSD の出現は、認知症の方の介護を左右する大きな問題だと思います。評価ツールは参考にさせていただきます。
- ・ BPSD のスケール、考え方と対応方法が印象に残った。
- ・ 病院スタッフからの質問内容が聞き取りにくかったので、チャットで質問して頂けると幸いです。
- ・ 認知症のある方の行動分析として ABC 分析の照会があり、その症状ではなく結果に視点を当てて、改善を図ることについて薬物療法ではなく、関わり方や支援者や家族からの経験値に基づく方法を生かすなどの先生からの紹介は参考になりました。できれば、はり姫で行われている実践や先生のこれまでの症例の実例をお聞かせいただきかったです。
- ・ 薬物・非薬物療法の考え方、理解が深まりました。介護者の交流の意識についてもお聞きすることができ、行政としての役割を感じました。ご紹介いただいた本は是非読んで、理解を深めたいと思っています。

等の貴重なご意見・ご感想をありがとうございました。今後の研修会開催の参考にさせていただきたいと思います。